

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 さかいの花 若久

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	✓		使用用途により部屋を分けて使用している	
	2	職員の配置数は適切である	✓		基準数に加え活動内容や児童の特性を考慮して配置している	男女比率(児童:スタッフ)に改善点がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	✓		階段はあるがリフトを設置	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	✓		ミーティングにより問題点を出し改善している	全スタッフが一同に会する機会が少ない事が問題であったがラインで連絡する事等で補った。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	✓		送迎時等にはこちらから意見をいただくよう心掛けている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	✓		ホームページにて公表	保護者アンケートで自己評価の結果がどこで公表されてるか知らない方がいたのでホームページでの公表を周知していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	✓		社内に監査部門がありそこが評価をしている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	✓		事業所内の研修に加え外部の研修にも参加できるように日程等を調整している	日程の調整がつかない場合もあるので検討していく必要がある
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	✓		モニタリング以外に常に保護者や児童のニーズは拾うようにしている	重度の児童の場合のニーズ把握は難しく常に検討しなくてはならない
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	✓		同じものを使用することでスタッフ間での捉え方の相違をなくしている	児童の特性に応じた物が必要になる場合もあるので検討していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	✓		プログラムの立案から見直しまでチームで行っている	チームでは行いが全員の意見が反映されていない場合があるので検討していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	✓		出来上がったプログラムを見直しパターン化しないようにしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	✓		季節に応じた課題も考慮している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	✓		児童の特性を考慮し個別・集団を分けている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	✓		反省点を踏まえ、本日の支援法をミーティングで確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	✓		緊急性の有無により翌日振り返りを行うかその日に行うか決めている	その場になかったスタッフへは紙面にて周知するように改善した

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	✓		支援記録は日々記録するようにしている	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	✓		定期のモニタリングだけでなく日々の児童の変化も考慮し見直している	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	✓		ガイドラインの再確認を必要に応じて行っている	新しいスタッフへの周知もしていかなければならない
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	✓		児発管が出席するようにしている	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	✓		日々の送迎時に担任と情報共有は行っている	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		✓		現在医療ケアが必要な児童は在籍していないが必要に応じて連絡体制は整えるようにしていく
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	✓		保護者を通じ連絡は取らせていただいている	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	✓		相談支援員から担当者会議と同様に開催してもらっている	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	✓		ゆうゆうセンター等のホームページから研修の開催を確認している	日程が合わない場合について検討していく
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		✓		保護者の中には必要性を感じない方もいるので個別に検討していく
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		✓		必要に応じて検討していく
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	✓		送迎時伝えられているが必要に応じて別で機会を設けている	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		✓		保護者へのサポートや助言等は常に行っているが、専門的に支援出来る資格を持ったスタッフを育成していく
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	✓		契約時説明はしている	契約時に説明はしているが、契約時の説明だけでは認識されていない保護者もおられたので再度説明する機会を設ける
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	✓		事業所だけでなく相談支援員へも相談している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		✓		保護者間での交流に必要性を感じない保護者もおられるが、事業所としては開催に向けて動いていく必要がある
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	✓		対応については整備し、保護者への周知も徹底している	苦情のあった保護者に対しては迅速に対応しているが、事例として他の保護者へ周知するかを検討していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	✓		情報についてはラインを活用して発信している	
	35	個人情報に十分注意している	✓		書類だけでなく、PCの管理も徹底している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	✓			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		✓		昨年同様、夏祭りの開催を地域に向けたものに出来るように努力している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	✓			策定は勿論、契約時に周知もしているが、内容を把握していない保護者もいるので周知方法を検討していく必要がある
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	✓			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	✓		虐待に関しては常に議題として取り上げ、身近な問題として考えるようにしている	新しいスタッフは虐待に関して漠然としか知識がない事が多いので、入社時の社内研修に加え外部の研修にも積極的に参加していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	✓		契約時の説明として必須事項である	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	✓			医師の指示を直接仰ぐまでは至らないが、保護者が医師から聞いた情報で対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	✓		事例に対してのミーティングを行っている	